

浄水発生土の放射性物質の測定結果について

企業局では浄水発生土処分のための最終処分場（管理型）を所有しており、埋立処理を行っていましたが、最近ではリサイクルの観点からセメント会社等、再生業者への処分を優先しております。

しかし、今回の福島第一原子力発電所事故を受け、再生業者が放射性物質の影響を懸念しているため、現在は搬出を停止し浄水場内に仮置きしております。

今般、国の考え方が示され、再生業者も業界としての処理方針を示しつつあることから、浄水発生土の放射性物質濃度を測定し、リサイクルの再開に向けて協議を行っていくことといたしました。

なお、本方針に基づく測定結果は下表のとおりとなっております。

県中央水道事務所（水源：那珂川）

単位：Bq/kg

試料採取日	放射性ヨウ素	放射性セシウム		
	I-131	Cs-134	Cs-137	合計
平成23年7月27日 （乾燥中発生土）	不検出	120	140	260
平成23年7月22日 ※震災前発生土	不検出	19	22	41

鹿行水道事務所（水源：北浦）

単位：Bq/kg

試料採取日	放射性ヨウ素	放射性セシウム		
	I-131	Cs-134	Cs-137	合計
平成23年7月22日	不検出	160	190	350

県南水道事務所（水源：霞ヶ浦）

単位：Bq/kg

試料採取日	放射性ヨウ素	放射性セシウム		
	I-131	Cs-134	Cs-137	合計
平成23年7月29日 （真空脱水発生土）	不検出	230	270	500
平成23年7月28日 （加圧脱水発生土）	不検出	580	640	1,220

※県南水道事務所は、真空脱水設備と加圧脱水設備の2つの施設で処理を行っています。

県西水道事務所（水源：霞ヶ浦）

単位：Bq/kg

試料採取日	放射性ヨウ素	放射性セシウム		
	I-131	Cs-134	Cs-137	合計
平成23年7月22日	不検出	280	300	580

利根川浄水場（水源：利根川）

単位：Bq/kg

試料採取日	放射性ヨウ素	放射性セシウム		
	I-131	Cs-134	Cs-137	合計
平成23年7月26日	不検出	210	240	450
平成23年7月20日 ※震災前発生土	不検出	24	21	45

◎水道水については、放射性物質が不検出の状況となっております。
詳しくはこちらからご覧ください（茨城県ホームページ）

<http://www.pref.ibaraki.jp/20110311eq/index12.html>